

小3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 76.3%

ねらい：出題漢字を正しく読むことができるかを問う。

分析と対策：漢字は、音読みと訓読みを区別して覚え^{おぼ}ます。いくつも読み方があるものは混乱しないように確認しておきましょう。

2 漢字の書きとり 50.0%

ねらい：出題漢字を正しく書くことができるかを問う。

分析と対策：漢字は正しく覚えることが大切です。何となく覚えるのではなく、一画一画^{たし}確かめながら正確に練習しましょう。

3 送りがな 72.5%

ねらい：漢字の送りがなを覚えることができるかを問う。

分析と対策：「あたたかい」などの漢字の送りがなは、ひらがなの字数が多いのでまちがえて覚えやすいものです。まちがしやすい漢字の送りがなは、漢字を書く練習のときからしっかりと確認することが大切です。また、「少ない」と「少し」では読みがちがいます。送りがな^{はんだん}の部分を確かめてから、漢字の読み方を判断することも大切です。

4 こそあどことば 85.0%

ねらい：こそあどことばの使い分けができるかを問う。

分析と対策：こそあどことばは、文の内容から正しいものを入れていきます。指し示している言葉が相手の位置から遠いのか近いのか、文の前後には何が書かれているのかを読みとって、正しいものを使い分ける必要があります。類題^{るいだい}も解いておきましょう。

5 主語とじゅつ語 46.7%

ねらい：主語とじゅつ語をしっかりと答えることができるかを問う。

分析と対策：主語とじゅつ語の問題は、まずじゅつ語の部分の「どうする」「どんなだ」「何だ」を見つけることが大切です。それから主語を見つけましょう。

6 詩の読みとり 44.0%

ねらい：詩の主題を正しく読みとれるかを問う。

分析と対策：リンゴの存在^{そんざい}についてえがかれている詩です。リンゴそのものの大きさの中にはリンゴ以外存在しない、その発見が、詩の作者によって「動かない事実として見出された」と【かいせつ文】では伝えてあります。「ある」と「ない」ことについて考えさせられる詩です。

7 物語の読みとり 51.9%

ねらい：場面から物語の内容を読みとり、登場人物の気持ちもつかむことができるかを問う。

分析と対策：「ぼく」は、死んだおじいちゃんが新盆^{にいぼん}にまよわず帰ってこれるように、お店のシャッターに絵をかくことになりました。「八月の新盆のはじめの日」に、「ぼく」が「アーケードの入り口を見た」とき、「おじいちゃんににた男の人が、ゆっくりとこっちに向かって歩いてくるのが見えた」のです。ママは「ちがう人よ」と言いましたが、それでも「ぼく」は「おじいちゃんだった」と思っています。「ぼく」のおじいちゃんに対する思いを読みとるとともに、人物像^{ずおう}もおさえていきましょう。

全体の平均点は 55.8点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。